

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【公開番号】特開2008-261852(P2008-261852A)

【公開日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【年通号数】公開・登録公報2008-043

【出願番号】特願2008-96228(P2008-96228)

【国際特許分類】

G 01 L 19/06 (2006.01)

A 61 B 1/00 (2006.01)

【F I】

G 01 L 19/06 A

A 61 B 1/00 320 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月8日(2011.3.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

使い捨て内視鏡用の圧力ゲージにおいて、

流体圧力を受けてこの流体圧力の変化に応じて移動する移動自在なピストンまたは膜の形式とった部分を有する圧力 - 動作変換エレメントと、

前記移動自在の部分の移動によって及ぼされた力を計測するための力計測エレメントと、を備え、

前記圧力 - 動作変換エレメントおよび前記力計測エレメントは、好ましくは、組み合わせ可能であり、流体を遮断するようにして分離され、且つ、機械的に連結され得る別々の構成要素として、形成されており、

前記力計測エレメントは、オリフィスを有したハウジングを含み、

前記圧力 - 動作変換エレメントを力計測センサに対して所定の位置に配置するため、前記ハウジング内に、力計測センサおよび位置決め手段が向かい合うようにして配置されており、

圧力ゲージが作動状態にある場合、前記移動自在な部分を有した圧力 - 動作変換エレメントが、オリフィスを介して前記ハウジング内の前記力計測センサおよび前記位置決め手段の間の固定される位置に挿入され、前記移動自在な部分が力計測センサと接触するようになる、圧力ゲージ。

【請求項2】

前記圧力 - 動作変換エレメントは、気密ユニットまたは流体密ユニットとして形成されている、請求項1に記載の圧力ゲージ。

【請求項3】

前記圧力 - 動作変換エレメントは、加圧されたガスまたは流体が通って流れる容器の一部分、あるいは、加圧されたガスまたは流体が通って流れるチューブの一部分を受けるための受け部を有し、前記加圧されたガスまたは流体の圧力が前記圧力ゲージで計測されるようになっている、請求項1または2に記載の圧力ゲージ。

【請求項4】

前記受け部は、流体が入った使い捨て可能な流体バッグに連結されたチューブのチュー

ブ部分を受け入れる、請求項 3 に記載の圧力ゲージ。

【請求項 5】

前記力計測エレメントあるいは前記圧力 - 動作変換エレメントは、組み立て状態において前記圧力 - 動作変換エレメントを前記力計測エレメントに対して固定するための係止機構を有する、請求項 1 乃至 4 のうちのいずれか一項に記載の圧力ゲージ。